

- 1、日 時 令和元年 5 月 18 日（土曜日）13:00～16:00
- 2、場 所 八王子労政会館第一会議室
- 3、出席者数 正会員総数 122 名（団体会員 67 名・個人会員 57 名）
出席者数 74 名（内 本人出席 32 名、委任状 42 名）
定足数（1/2 以上）の 61 名を満たしており、本総会は成立。
- 4、審議事項
 - （1） 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告の件
 - （2） 第 2 号議案 平成 30 年度収支決算の件
 - （3） 第 3 号議案 令和元年度事業計画の件
 - （4） 第 4 号議案 令和元年度収支予算の件
- 5、配布資料
 - （1） 八王子市市民活動協議会令和元年度総会【議案書】・・・事前配布

議事経過の概要及び議決の結果

司会の内野洋子が開会を宣し、八王子市民活動協議会理事長及び来賓の八王子市市民活動推進部長の挨拶が行われた。

1、理事長挨拶：特定非営利活動法人八王子市民活動協議会 理事長 岡崎理香

本日は八王子市民活動協議会令和元年度総会にご多忙中の所お集まり頂いて本当に有難うございます。昨年度は 2 年に一度の理事改選の年で、理事の半数が入れ替わりました。石井前理事長に代わり岡崎が理事長を受け継ぎ最初の総会になります。新体制で、これまで評価された部分はそのまま継続し、課題部分は改善し、より一層地域における個人や団体の活動を支援する協議会となるためにあらたな挑戦をする年と位置付けましたが、岩田事務局長の急逝など予期せぬ出来事が続き協議会丸は常に大波小波に揺れている状態でした。それでも理事一丸となり各事業に真摯に取り組んでまいりました評価を本日会員の皆さまにいただきます。

どうぞ本日は各議案に対して活発にご議論、ご検討頂き、建設的なご意見をいただければ幸いです。宜しくお願い致します。

司会より八王子市市民活動推進部長小峰修二様と協働推進課長加納清様の紹介があった。

2、来賓挨拶：八王子市市民活動推進部 部長 小峰修二 様

本日は八王子市民活動協議会通常総会にお招き頂きまして、誠に有難うございます。八王子市民活動協議会は市民活動の活性化と地域の発展に寄与することを目的としております。市民活動の中間支援組織であり、八王子市市民活動支援センターの指定管理者として開設当初より携わって頂いております。定年退職された方の地域参加の切っ掛けの場を提供する「お父さんお帰りなさいパーティー」の開催や、地域で安心して生活するために必要な情報を紹介する「地域包括ケア情報サイト」等様々な市民活動を行って頂いております。昨年、特定非営利活動促進法施行 20 年を迎えました。NPO の数も随分増えてきておりま

す。今後の市民活動への期待は大きく、市民活動を更に活性化するため、引き続き市民活動協議会の皆様と力を合わせ取り組んで参りたいと考えています。市民活動協議会の皆様がこれまでの活動で培ってきた経験やスキルを十分に発揮して頂き、重要なパートナーとして益々お力添えをお願い申し上げますと共に、更なる活躍を期待申し上げます。

3、議長・書記の選出

司会の内野洋子が議長の選出を諮ったところ、司会者一任の声により司会者の指名を受け、議長に藤岡一昭（一般社団法人八王子自治研究センター理事長）が就いた。議長から本総会が成立している旨報告があり、引き続き書記の選出について議長指名の提案が了承されたので、書記に廣川英資と齋藤健が選任された。

4、議事録署名人の選出

議事録署名人は定款第 29 条に基づき議長の藤岡一昭および他の 2 名が必要であり、議長から大山健三と理事長の岡崎理香が推薦され、全員異議なくこれを承認した。

5（1）第 1 号議案 平成 30 年度事業報告の件

事業概要報告（岡崎理香）、支援センター活動（大山健三）、協議会自主活動全般（山中馨）、広報部（小林結花）、交流推進部（内野洋子）、地域ネット部（大福族生）、政策研究企画部（千種康民）、志民塾（岡崎理香）について、それぞれ報告があった。

（質疑）

- ・鈴木氏より、①具体的な改善点がわからない。②このタイミングでのセンター長の交代はどうか。
- ・水野氏より、情報セキュリティーの維持管理について、支援センターの指定管理者として理事長はどのような指摘をされているのか。
- ・久保田氏よりオトパ・志民塾・パワーアップ講座の受講者の団体への参加等のフォローアップがどのようになっているのか。

（応答）

- ・岡崎理事長から、鈴木氏質疑①について「支援センターと協議会の乖離の是正のため、支援センター会議や支援センターのモニタリング調査等センターの業務へ協議会も参加し、協働関係の強化を図り、改善に努めている。また協議会のガバナンスも組織として高めている」との回答があった。
- ・鈴木氏質疑②について岡崎理事長より「前任者が支援センター長を担当して満 7 年になり、退任の意向があったため公募により新センター長を選任した」旨回答があった。
- ・水野氏質疑の、「情報セキュリティー」について大山氏より、「支援センターは八王子市と同レベルの情報セキュリティーマニュアルに基づき高いレベルで運営されている」旨回答があった。
- ・久保田氏の質問について、岡崎理事長より「志民塾はその後の動向調査を行い、役所に報告している。オトパは参加者にアンケート形式で調査し、その結果を「協議会だより」などで公表している」旨説明があった

議決…保留 1（書面）で、多数を以って第 1 号議案を可決した。

（2）第 2 号議案 平成 30 年度収支決算の件

30 年度収支決算（石見光夫）の報告があった。

（監査報告）

武田康男監事より「業務監査は春田監事、会計監査は武田監事が中心となって監査を実施し、概ね適法に処理・記載されている」旨の報告があった。

(意見) 鈴木氏より「支援センター事業費の大半が人件費であり、厳しい折、予算が確保できるよう効率的な運営に努めてほしいとの意見があった。

議決…保留1(書面)で、多数を以って第2号議案を可決した。

(3) 第3号議案 令和元年度事業計画の件

基本方針と概要(岡崎理香)、支援センター事業(濱野悦博)、協議会事業全般(山中馨)・広報部(小林結花)・交流推進部(内野洋子)・地域ネット部(大福族生)・政策研究企画部(千種康民)・志民塾(岡崎理香)の報告があった。

(意見)・吉永氏より以下の意見があった。

- ① 10年前と変わっていない。総会参加者が減っている。若者がいない。会議室が空いている。
- ② イベントが多過ぎる。現場に入って各団体のアドバイスに力点を置くべきではないか。
- ③ 支援センタースタッフは現場に行かないと良い運営はできない。会社事務員ではない。
- ④ 協議会は福祉にもっと力を注ぐべきではないか。
- ⑤ CB化を本当にやらないといけない。真剣に進めて下さい。
- ⑥ 行政をリードする機関になって貰いたい。例えば、市民が集える場を多くつくる。
- ⑦ 理事の選び方を工夫して貰いたい。大学生や女性重視等。
- ⑧ 支援センター支所を作って貰いたい。

議決…保留1(書面)で、多数を以って第3号議案を可決した。

(4) 第4号議案 令和元年度収支予算の件

令和元年度収支予算(石見光夫)の報告があった。

(質問)

・本山氏(著作権推進会議)より「NPOの会計基準の書式」で会計処理をし、報告することについて質問があった。

(応答)

・石見氏より「来年はNPO会計基準の書式」で会計処理をして、報告する旨の回答があった。

議決…保留1(書面)で、多数を以って第4号議案を可決した。

6、報告事項

特定非営利活動法人八王子市民活動協議会理事選挙規程の変更

意見：はじめに本山氏から選挙規程の変更は総会決議事項ではないかとの意見が提出された。

説明：齋藤氏より「理事選挙規程の変更」は、理事会で改廃することになっているので、報告事項でよいとの説明があった。

議長：執行部の認識は「これまでは理事選挙規程で処理してきた。今回理事選挙に関わるので議案としての提案ではなく報告事項とした」と解釈される。

意見：本山氏より「今回は議長の解釈で結構ですが、今後は規程を整備して対応して頂きたい」との意見があった

回答：岡崎理事長より「理事選挙規程」の改廃は、理事会の専決事項になっている。今回「理事選挙規

程の変更」を会員に広く周知する必要から報告事項としたとの回答があった。

説明：山中氏から「現規程で理事適合者のフィルタリングが利かないため改定した」旨改定の趣旨について説明があった。

議決…拍手により絶対多数を以って報告事項が承認された。

以上により本日の議事は全て終了し、議長は今後の協力を要請して閉会を宣した。

令和元年 5月18日

議 長 藤 岡 一 昭

議事録署名人 岡 崎 理 香

議事録署名認 大 山 健 三
